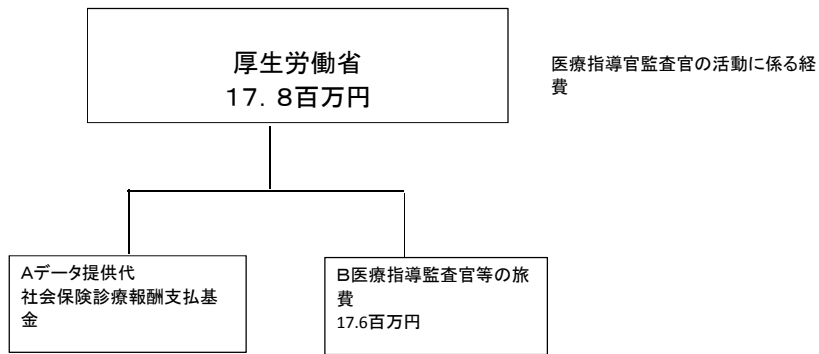


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療指導監査官の活動に要する経費			担当部局	保険局		作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課医療指導監査室		鈴木 健彦	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等に対して医療指導監査官による指導監査等の実施に係る旅費及び指導監査等に関する必要なマニュアル作成及び配布等を行うことで、保険診療の適正化を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療指導監査官の指導監査等に係る旅費、医療指導監査部門の職員が使用するマニュアル作成経費等。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	20	22	22	22	22	0
	執行額	17	18	18				
	執行率(%)	85%	82%	82%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標 指導・監査等業務は、保険医療機関等に対し、保険診療の内容及び診療報酬請求の妥当性等について確認し、必要に応じて指導等を行い、保険診療の質的向上及び適正化を図ることであり、定量的な指標はもとより、間接的な指標を設定することもできない。			当事業において、指導監査業務の標準化・統一化のため、全国統一の実施要領を作成し、地方厚生(支)局に配布。 平成24、25年度は作成しているが、平成26年度は実施要領の改訂内容を勘案して作成していない。				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	実施要領の作成状況	実施要領の作成部数	実績	1	930	900	0	
			目標値	1	955	955	955	955
			達成度	%	97%	94%	0%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	実施要領の作成状況	活動実績	部	930	950	0		
		当初見込み	部	955	955	955	955	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X/Y X=実施要領の印刷製本等費用 Y=実施要領の印刷部数		単位当たりコスト	円	1,052	1,552	0	3,134
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	会議費	3						
	指導等派遣に係る経費	17						
	保険医療機関等への指導監査旅費	2						
	顧問医師招集旅費	0						
	計	22	0					

事業所管部局による点検・改善						
		項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	保険診療の質向上及び適正化等が期待できることから、国民からの要請も高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	保険診療の質向上及び適正化等に資する事業であることから、地域による偏りが生じることは望ましくなく、全国で統一に行うべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	保険診療の質向上及び適正化等に資する、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業目的のみの使途となっており、必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			△	予定していた実施要領の改訂は平成27年度に行うことが妥当とされ、平成26年度に行わなかった。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			○	必要最低限のコストで実施しており、コスト削減の工夫は行われている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			△	予定していた実施要領の改訂は平成27年度に行うことが妥当とされ、平成26年度に行わなかった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	平成26年度においては、実施要領の作成が行われなかったため予算と執行に乖離が生じた。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度における指導監査における旅費等は適切なものとなっているが、実施要領については改訂状況を勘案して作成していないことから予算と執行に乖離が生じている。				
	改善の方向性	妥当な水準の執行に努める。実施要領については、平成27年度は予算内において作成する。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	273	平成23年度	244	平成24年度	210	
平成25年度	243	平成26年度	255			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 社会保険診療報酬支払基金			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	保険医療機関等平均値データの提供	0.2			
計		0.2	計		0
B.(株)JTBC首都圏			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	医療指導監査官等の旅費	17.6			
計		17.6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	保険医療機関等平均値データの提供	0.2	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTB首都圏	医療指導監査官等の旅費	17.6	—	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					